

令和7年度第2回山城エリア介護労働懇談会の開催 京都支部

各市町の令和7年度振り返りと令和8年度活動についての意見・要望集約

開催日時: 1月21日(水) 10:00 ~ 11:30

テーマ・議題

＜再確認＞山城エリア介護労働懇談会の意義

＜本日のゴール＞

- ①令和8年度山城エリア介護労働懇談会テーマ、構成、会場、日時の確定
- ②令和8年度山城エリア介護事業所州団相談テーマ、案内手法、構成、会場、日時の確定

主な参加機関

・宇治市役所 ・城陽市役所 ・久御山町役場
の介護行政に関わる課長他職員

＜令和7年度山城エリア懇談会および介護事業所研修会の振り返り＞

＜別紙＞

- ① 山城エリア懇談会 6月27日 10:00～11:30 宇治市役所
- ・岡本講師による講演「介護事業所の人材定着とそのポイント」
～住民が適切なサービスを受けられる仕組みづくり～
 - ・各市町毎の意見発信および他市町からの質問への回答など
11名参加（久御山町3名、宇治市4名、城陽市4名）

《久御山町》

- ・2か月に1回の町内高齢者施設運営法人との施設長会議で情報共有ができており、町内の介護事業所から役場に問題を持ち込まれることは、ほぼない。そのため、対応方法でなく理論を学べて良かったと考えている。
- また、宇治市・城陽市職員の意見や実情を聞いたことも良かったと考えている。
- ・講演を聴くだけでなく、活発な意見を求める交流はあっても良いかもしれない。
- 事業者向けにディスカッションする時間を設けると同じで、市町間でもそういう時間があれば、更に意見の幅が広がるように感じる。

《城陽市》

- ・岡本講師の講演は分かりやすかった。介護事業所からは人員不足を理由に、市役所に解決を求めてくる案件も散見されるが、行政の中立的スタンスや対応上の理論および手法を明示してもらったことが職員には有意義であった。
- ・介護事業所によっては、市役所からの確認に対して、聞き直ったり隠したりするケースもあるが、今回学んだ対応上の理論および手法を活用していきたい。

《宇治市》

- ・自治体間で、職員が情報・課題等を共有し、顔なじみになるいい機会
- ・メインについて、講演を「聴く」でなく、「交流」にしてもいいのでは？

主な内容 : 令和8年度山城エリア懇談会および集団相談実施に向けて

・令和7年10～11月に各市町(宇治市・城陽市・久御山町)を訪問し、令和7年度の介護労働懇談会(6/27宇治市役所会議室)および介護事業所集団相談(9/29久御山町役場会議室)の振り返りと令和8年度開催に向けた意見・要望を確認し、11月に各市町の意見・要望を集約した書面をメールで共有。その書面に基き、開催に向けた現実的な討議を行う場として、本日の懇談会を設定。

・本日参加者の自己紹介

・令和6年度(カスタマーハラスメント)、令和7年度(人材定着のポイント)というテーマで開催してきたが、集団相談では、チェック&アクション25を活用し、各事業所に何が課題なのか気付かせることをテーマとする。懇談会では、住民が適切なサービスを受けられる仕組みづくりという視点で、チェック&アクション25による課題確認を参考に気付こう、気付かせようと一歩踏み込んだ行政サービスを学んではどうかという結論に至る。

参加団体からのお知らせ・状況報告等

・宇治市生涯学習センター 令和8年8月～令和9年1月まで耐震工事のため、使用できず。(宇治市)

事務局(介護労働安定センター 京都支部)からコメント

・懇談会の内容に関するお問い合わせは、TEL075-802-3237(京都支部)に御連絡ください。
・2月9日労働局事業経験交流会開催(京都経済センター6階会議室)につき、各市町での事業所への案内を依頼。
※宇治市が地域ネットワーク・コミュニティの1つであり、各市町から事業所に案内してもらったため